

2025年6月期ハイキング「東京大学本郷キャンパス周辺散歩」の報告

実施担当：福祉環境科

2025年6月6日(金)、柔らかな日差しが若葉に降り注ぐ頃、暑さの中にも時折吹く爽やかな風が汗を吹き落してくれた初夏、アカデミックな東京大学本郷キャンパス周辺を散策しました。10時50分にJR上野駅公園改札口に集合し、参加者10名で元気に出発しました。



10時50分：JR上野駅公園改札口に集合し、朝のミーティング後、不忍池に向けて出発しました



上野恩賜公園を散策しながら不忍池に向かう



11時10分：不忍池に到着。ここにはインバウンドの観光客が多数みうけられました。また、池には蓮の葉が生い茂り開花に備えていました。



根津神社を目指して街中を歩く。



11時45分：根津神社に到着。御社殿は1706年に完成した権現造りの本殿・幣殿・拝殿・唐門・西門・透塀・楼門が欠けずに現存し、国の重要文化財に指定されています。

社殿上部に卍が表示されており、神社なのになぜとNさんが宮司に聞いたところ、神仏習合の時代のなごりで、重要文化財のため改修もできずにきているとのこと。



12時25分：東京大学本郷キャンパスに到着。1968年（昭和43年）の東大安田講堂事件で名を馳せ、東大の象徴的な安田講堂前で集合写真。



夏目漱石の小説「三四郎」以来、三四郎池の愛称で親しまれている池の周りを一周する。



東大の学食で昼食を取る。リーズナブルで美味しかったです。



風格とアカデミックさを感じる東大の建物



受験生が夢見る、東大のシンボル「赤門」

加賀藩 13 代藩主・前田斉泰 (まえだなりやす) が、1827 年、江戸幕府 11 代将軍・徳川家斉の娘・溶姫を正室に迎えた際に建立された御守殿の門。赤いのは江戸時代の慣習として、将軍家から姫をもらう際には門を赤く塗るというしきたりがあったためとのこと。



14時25分：湯島天満宮に到着。学問の神様として知られる菅原道真を祀っているため受験シーズンには多数の受験生が合格祈願に訪れ、普段からも学問成就や修学旅行の学生らで賑わいを見せている。



15時30分：上野恩賜公園に帰って来ました。
「上野の西郷さん」の名で親しまれている西郷
隆盛像。愛犬の薩摩犬のツンとともに、故郷の
鹿児島を偲んでいるようでした。



彰義隊士の墓

1868年7月4日の上野戦争で、賊軍となった彰義隊士の遺骸（266体）は、そのまま放置されたが、円通寺の住職・仏磨和尚らによって当地で荼毘に付されました。

新政府の言論統制が解除された後の1874年ここに彰義隊の墓を建設したが、墓石には新政府を憚って彰義隊の文字は無く、山岡鉄舟の筆による「戦死者之墓」が刻まれている



15時50分：ゴールのJR上野駅に到着し挨拶
後に解散となり、各自家路に着きました

東京大学本郷キャンパス周辺散歩はいかがでしたでしょうか。覚悟していた暑さも時折吹く爽やかな風で大分和らぎ、東大キャンパスのアカデミックな雰囲気にふれ、学食で昼食を取り、若いころが思い出された事と思います。

次回7月7日(金)は、「大谷石切場跡とその周辺を巡るハイキング」です。梅雨の息苦しい季節を迎えるますが、体を自愛して元気で参加しましょう。

記：笹沢